

採 択 理 由

【音 楽】 発 行 者 ・ ・ 教 育 出 版 (株)

- 音楽の楽しさ、親しみを得ることから始まり、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞などの学習活動がバランスよく排列され、段階的に表現や芸術の素晴らしさに気づく構成になっていること。
- 巻頭に第一線で活躍する演奏者のメッセージが掲載されており、音楽だけではなく、児童にとって生き方も考えさせる内容になっている。また、「学びナビ」を全学年に設けて、児童の主体的な学びを引き出すような工夫がされていること。
- 音楽を形づくっている様々な要素から、それぞれの学習に関連するものを「音楽のもと」と示し、図解や透明シートを生かして学習内容が理解できるようになっていること。
- 北海道の民謡である「ソーラン節」を取り上げるなど、児童の学習意欲が高められるようになっていること。
- WEBリンクのマークを設定し、学習に広がりをもたせる資料や運指の技能等を動画でわかりやすく示していること。
- 低学年の教科書のサイズを小さくして軽量化を図り、中学年以降はA4変型判とするなど、発達段階に即した使いやすさと内容の充実を図っていること。